

2022年度 早稲田大学大学院教育学研究科
高度教職実践専攻入学試験
(特別選考入試(後期日程):小論文)

問 題 用 紙

注 意 事 項

1. 問題冊子および解答用紙は、試験開始の指示があるまで開かないこと。
2. 問題は、2ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 受験番号および氏名は、試験が開始されてから、解答用紙の所定欄に正確に記入すること。
なお、解答用紙が複数枚ある場合には、それぞれの所定欄に正確に記入すること。
受験番号は以下の例のとおり、数字で記入すること。

(例) 11001 番 ⇒

万	千	百	十	一
1	1	0	0	1

4. 解答はすべて解答用紙の所定欄にHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
5. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答を止め、筆記具を置くこと。終了の指示に従わずに解答を続けた場合は、答案の全てを無効とするので注意すること。
6. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。
7. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

小論文注意

1. 解答は横書きとし、楷書で左から右へ書くこと。
2. 句読点、記号等、および改行のために生じる余白もすべて字数に含む。また、解答用紙の字数を超えて解答してはいけない。
3. 本文中に自分の氏名を書かないこと。
4. 小論文解答用紙は汚したり、折りまげたり、破ったりしないこと。
5. 下書きは、別に配付の下書用紙を使用すること。試験終了後、下書用紙は持ち帰ること。

以下の論題について、1200字程度（1100字～1300字）で解答してください。

論題

貧困、紛争、感染症、気候変動、資源の枯渇… 人類は、これまでになかったような数多くの課題に直面しています。このままでは、人類が安定してこの世界で暮らし続けることができなくなってしまう、そんな危機感から、世界中の様々な立場の人々が話し合い、課題を整理し、解決方法を考え、2030年までに達成すべき具体的な目標を立てました。これがSDGs（持続可能な開発目標）の取組です。

現在、社会全体でSDGs（持続可能な開発目標）の取組が推進されていますが、今般の学習指導要領においても、前文及び総則において、子どもたち一人一人が「持続可能な社会の担い手」となることを期待している旨が記載されています。

学校においては、これまでもESD（持続可能な開発のための教育）の取組が行われてきていますが、「学習指導要領での位置づけを知らない教員が3割弱いることが環境省の調査で明らかになった」との報道も見られます（2021年5月24日付け日本教育新聞）。

こうした動向を踏まえながら、自校におけるSDGs（持続可能な開発目標）の実現に向けた取組の現状と課題を挙げ、あなた自身がどのようにかかわっているのか、あなた自身が担当する教科・科目及び学級活動（ホームルーム活動）での実践に触れながら述べなさい。

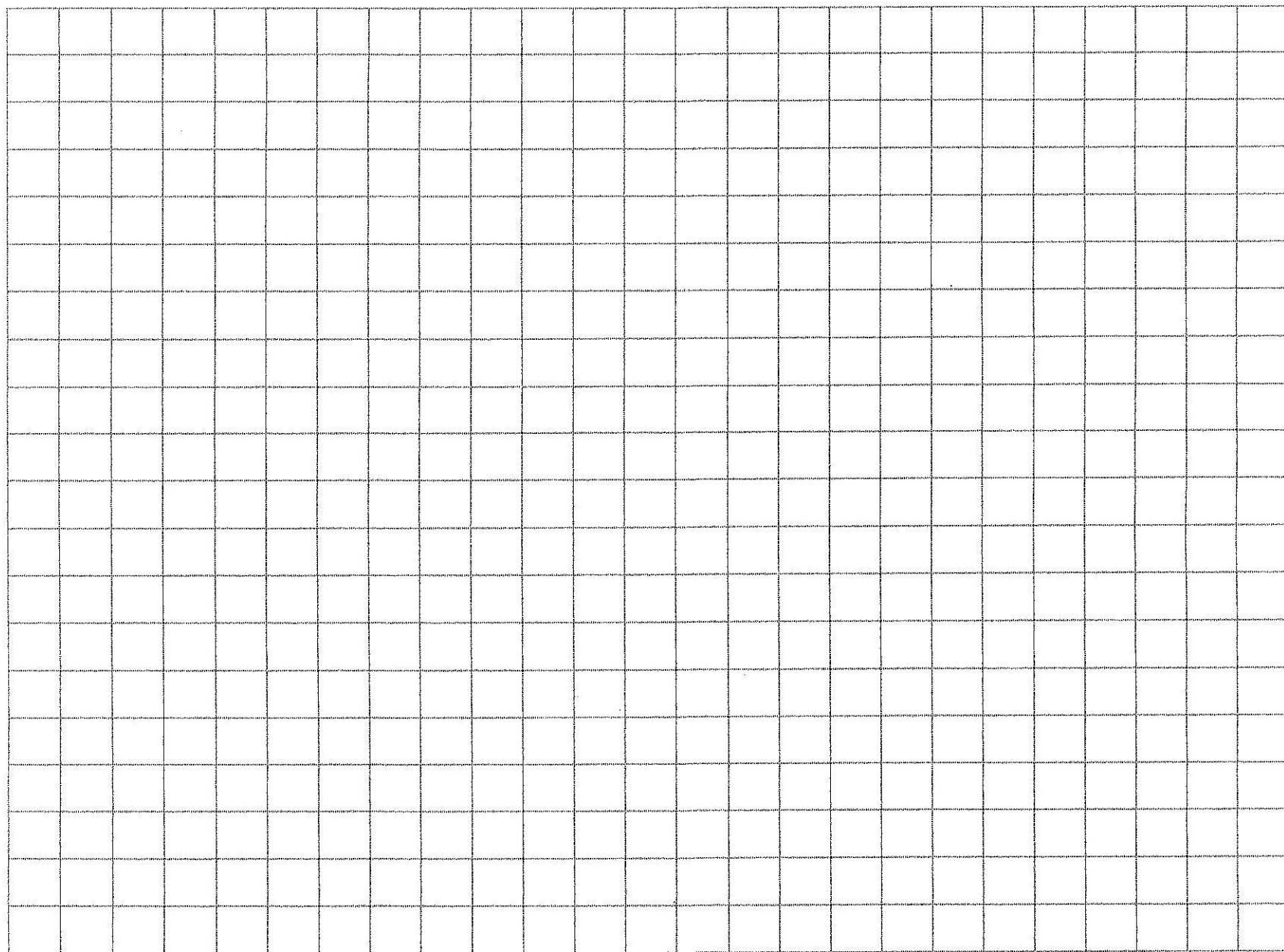
（注） ここで言う「自校」とは、現任校もしくは直近の勤務校を指しています。

2022年度 早稲田大学大学院教育学研究科高度教職実践専攻入学試験
(特別選考入試：小論文 解答用紙)

受験番号					
氏名					

大学記入欄 1	大学記入欄 2	大学記入欄 3	大学記入欄 4

This image shows a full page of blank graph paper. The grid consists of small, equal-sized squares formed by thin, dark gray lines. There are 20 columns and 20 rows of squares, creating a total of 400 square units. The background is white, and the grid lines are evenly spaced both horizontally and vertically.



◀ 1100 字

◀ 1200 字

◀ 1300 字